

## 2024年度 基本方針

社会福祉法人 東備福社会

2024年の介護報酬改定は6年に1度の診療報酬との同時改定で何とか介護分野（特養・小規模）においては、2%のプラス改定となった。

しかしながら、光熱費や物価高騰の波が予想以上に大きく、けして安堵できる状況ではない。今回、医療・介護の連携、生産性向上、自立支援・重度化防止、科学的介護が大きなテーマとなる。加算取得だけでなく、ケアの質の向上に対して多くの変革が必要とされる。

新型コロナ等の感染症との闘いも継続して必至の課題である。今まで培ってきた知識を活かし、まん延防止に努めていく必要がある。

2025年問題（団塊の世代が75歳を迎え超高齢化社会に突入する）直前の年度でもあり社会保障制度の新たな対策に向け迅速に対応できるだけの体力、柔軟性が必要不可欠になってくる。

地域における存在意義を向上させることが生き残っていくためには必要であり、地域福祉の推進も責務と捉え、他法人とも協同して地域公益活動の強化も力を入れていく。

個々の職員が福祉のプロであるという自覚を持ち、更なるレベルアップに向け、何をすべきか精査し新たな気持ちでチャレンジしていきたい。

時代の変化に敏感に反応しながら常に新しい意識変革を目標に掲げ、事業の推進と事業内容の拡充に邁進していく。

# 2024年度 事業計画

社会福祉法人 東備福祉会

## 1. 基本理念

1. 私達は愛情と尊敬をもって接し、お年よりにとって何が最良かを一緒に考え実践します。
2. 私達は地域社会に安心を提供し、いつも親近感のわく、あたたかい介護を行います。
3. 私達は地域の方々の健康と生活を守ります。
4. 私達は介護を通じて自己実現を計り、もって多大なる社会貢献を果たすと共に自らも幸福となります。
5. いつでも安心して生活できるように思いやりの心・温かい言葉・親切な行動・明るい笑顔で接します。

## 2. 基本方針

### ① 新たなチャレンジ

ご利用者様、個々に目を向け、その人らしく生きることに注目する。人権を尊重し虐待が起こらない体制、雰囲気確保する。説明できる根拠に基づく支援をすることで、信頼関係を構築する。今までの方法に囚われることなく、常に新しく画期的な方法を模索しチャレンジしていく。

### ② サービスの質の向上と自己研鑽

感染症対策、災害対策の取り組みにも重点を置き、迅速かつ確に行動できるよう平素から訓練を通して常に心掛ける。各部署間の情報共有と連携を密にして相互に向上できるよう取り組む。制度改正の柱である医療・介護の連携、生産性の向上、自立支援、重度化防止、科学的介護を念頭に業務方法やサービス内容を見直し、良質なサービス提供に努める。

### ③ 地域への貢献

地域共生社会の実現するための福祉拠点となれるよう、高齢者や子ども、障害者がそれぞれに活躍し、支え合うことで好循環を生み出すことができる取り組みを目指していく。地域公益活動ささえ愛福祉ネットワークびぜんを中心に展開し地域の中における存在意義を職員全員が意識し行動していく。

### ④ 人材の確保・定着・育成

外国人の雇用も継続して人材確保に繋げていく。外部研修や法人内研修を通して個々の知識や技術に応じた更なるスキルアップを目標とする。

職員の定期的な親睦会の開催など何でも話しあえる環境づくりに努める。

### ⑤ 適正な事業管理と利益の確保

各サービス拠点における数値目標を定め、その達成に尽力する。採算性を重視しエビデンスに基づく安定した収益確保に努める。経費の見直しを行い、無駄をなくし、より一層、安定的な事業運営に努める。